

K-GENESYS 操作ガイド

留学期間中の履修科目報告はすべてK-GENESYSを利用して行ってください。

ログイン方法

ユーザーID: s+学籍番号(6桁)

パスワード: gaku+各自が登録したパスワード(4桁)

K-GENESYSへのログイン <https://kgenesys.kansai.ac.jp/top.html>

注意事項

- 日本時間 3:00 am – 6:00 am はメンテナンス時間中のため利用できません。
- インターネットへの接続は Internet Explorer を利用してください。
- アルファベット/数字は半角英数字で入力してください。
- 必須項目で入力する内容がない場合には n/a と入力してください。
- ダブルクォーテーションマーク(")の入力はできません。

■ 履修登録および報告方法

ログイン → Menu 画面 → 派遣留学生 → 履修登録／報告

履修登録は学期単位で行ってください。語学集中講座などの場合は成績が出るTerm・学期単位で登録を行ってください。留学先大学で履修登録が完了した時点で、科目登録を行い、授業終了後に報告を行います。Add & Dropの期間に授業を変更した場合には、その都度、登録を行ってください。

留学先一覧画面で「登録」をクリック

学期一覧画面で「新学期登録」と「確認/修正」をクリック

1. 登録科目一覧へ履修登録をしたすべての科目を入力

学期のセクションに必要な事項を入力してください。

「学期期間」: オリエンテーションからテスト期間終了までの期間です。

「卒業期」: 選択は秋派遣長期留学参加中の卒業年次生(5・6年目)のみ「8月期」(8月卒業)を選択することが可能です。それ以外の学生は全員「3月期」を選択してください。

登録科目一覧のセクションに必要な事項を入力してください。

「コースナンバー」: シラバスなどに記載のあるコードを入力してください。

コードがない場合には「n/a」と入力してください。

「授業言語」・「コースタイトル」: 英語(中国・台湾の場合は漢字でも可)で入力してください。

「削除」: Add & Drop期間中に授業をDropした場合チェックをつけてください。

削除科目は修正できません。

入力後確定ボタンを押すと科目情報は修正できません。訂正がある場合には削除をして、再度新しい科目として登録してください。登録後は「報告状態」のところに「未」と表示されます。

2. 学期終了後ないしは帰国後、科目ごとに履修報告の入力

各科目に対して「報告」ボタンをクリックし、必要事項を入力してください。

「授業期間」: オリエンテーションやテスト期間は含めず最初の授業開始日と最終の授業終了日を入力してください。

「総時間数」: 必ず「分」で計算し、科目に対しての「総授業時間数」を記入してください。

授業期間何週間 X 週何回 X 1回あたりの授業時間数分

週間 X 週回 X 分 = 分

例) 15 週間 X 週 2 回 X 90 分 = 2700 分

「成績」: 成績が判明していない科目は空欄にしておいてください。

「語学科目言語レベル」: 語学の科目のみが対象です。

「授業内容」: 日本語で入力してください。授業の具体的な内容を入力してください。

授業の進め方や授業に対する自分の感想などを書く必要はありません。

201~400文字で入力してください。

すべての項目が入力済みになると、登録科目一覧の画面の「報告状態」が済と表示されます。

3. 履修報告書の内容を送信

報告状態が「済」になっているもののみが報告されます。



K-GENESYSメニュー画面
「派遣留学生」⇒「履修登録/報告」



「留学先一覧画面」
表示内容を確認し、「登録」ボタンをクリック



「学期一覧画面」

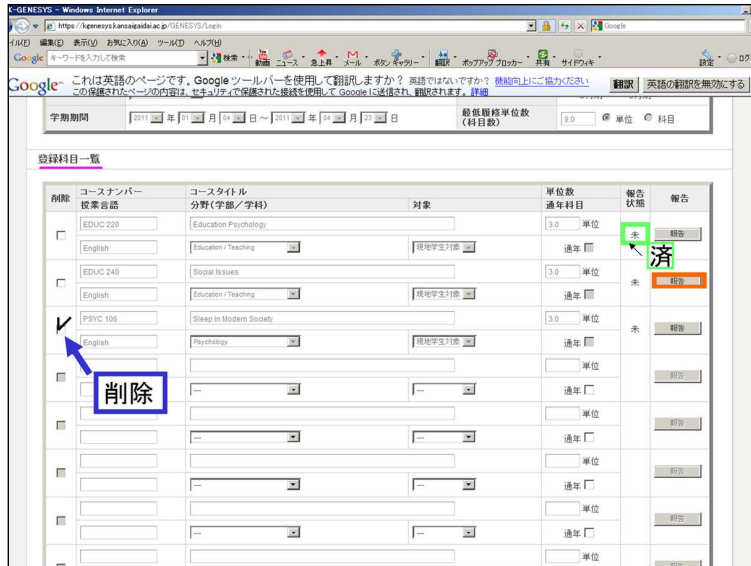
「新学期登録」より入力を進めてください。

すでに学期の登録が終わっている場合、今から登録する学期の「確認/修正」ボタンをクリックしてください。



「履修科目登録画面」

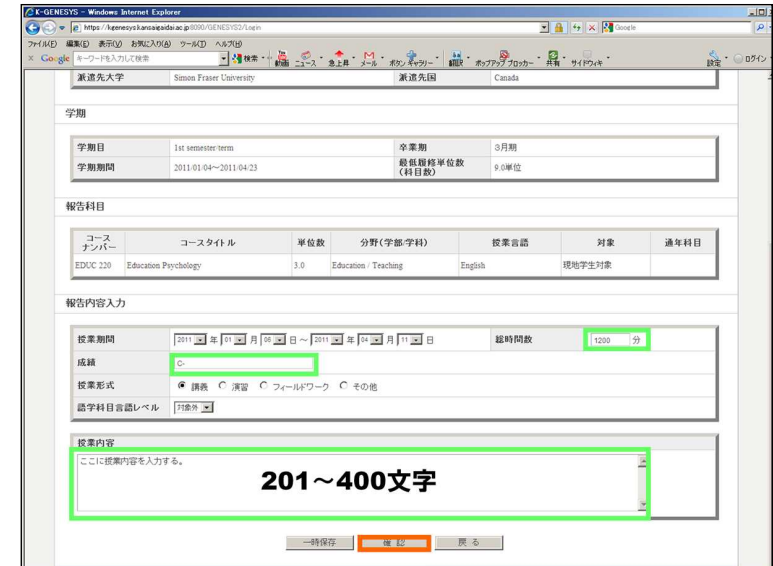
学期期間やその学期中に履修した科目の情報を入力してください。



「登録科目一覧」

コースナンバーやコースタイトル等、科目の基礎情報を入力できます。

この画面で基礎情報を入力した後、「報告」ボタンを押し、各科目の詳細入力画面に進みます。



「報告内容入力」

各科目の総時間数や成績等の詳細を入力します。

総時間数は、学期中の1科目の全ての時間数です。

たとえば、一学期目にA科目が90分で週に1回の合計30回行われた場合、 $90 \times 1 \times 30 = 2700$ 分になります。

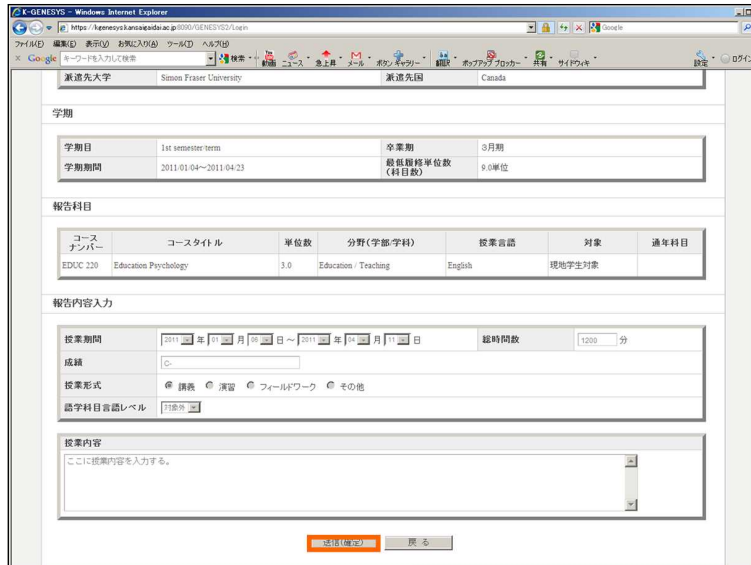
報告時点で成績が判明していなければ、成績欄は入力しなくても構いません。速やかに報告することを優先してください。成績は成績証明書で確認します。

授業内容は、201~400文字(日本語)で入力してください。

文字数に過不足があれば送信できません。

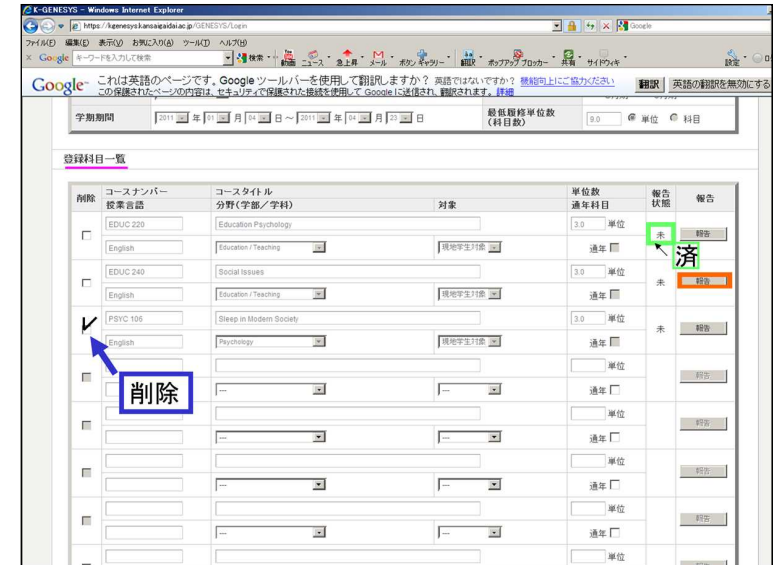
留学先大学のシラバスの内容をコピーペーストしたものでは単位認定できません。

全ての項目が入力できれば、下の「確認」ボタンをクリックしてください。



次に先ほど入力した内容が間違いないか確認してください。

間違いないければ「送信(確定)」ボタンをクリックしてください。



各科目の詳細まで入力が終われば、「報告状態」が「済」に変わります。

全ての科目の報告状態を「済」にしてください。

一度報告状態が「済」になった科目の内容を修正することはできませんので、修正が必要な場合は、一度その科目を削除し、再度入力する必要があります。

左端にある「削除」ボックスにチェックを入れ、一番下の「確認」ボタンをクリックし、

次の画面で「送信(確定)」ボタンをクリックするとその科目は削除されます。

The screenshot shows a web browser window displaying a course reporting form. The form includes a table with columns for course ID, name, and status. Below the table are two dropdown menus labeled '備考欄A' and '備考欄B'. At the bottom, there are buttons for '確認' (Confirm), '理由理由Download 1', '理由理由Download 2', '理由報告書Download', '戻る' (Back), and 'メニューへ' (Menu). The '確認' button is highlighted with an orange box.

全ての科目を報告状態を済にしたあとは、確認→送信(確定)ボタンを押し、入力を完了してください。

引き続き別の学期がある場合は、「新学期登録」より再度入力を行ってください。

入力例：ESL科目

単位認定用 履修科目報告書

所属名称	外国語学部 英米語学科	派遣年・時期	2012 - 春派遣	学期目	2nd semester/term
学年・クラス・学籍番号		留学区分	英語/レギュラー留学	学期期間	
氏名(英文)		派遣先大学・国		卒業期	3月期
氏名					
帰国後連絡先	電話番号:	携帯電話番号:			
備考欄A			備考欄B		

コースナンバー	n/a	タイトル	Grammar	通年科目	
分野	English	授業期間	2013/07/01 - 2013/08/15	対象	留学生対象
授業言語	English	授業形式	講義	語学科目言語レベル	上級 成績
教科書は使用せず、パワーポイントでアップされる内容を自分で印刷して授業で使用しました。グループを作り、カードに書かれている文章をみてどこが文法として間違っているかを話し合ったりしました。授業外で解いてきた文法問題をパートナーと答え合わせして相手と答えが違うとどうしてこの答えを選んだのかを説明しました。クラスを2つに分けて早く文法問題を答えられた方に1点とし、ゲーム感覚で文法を勉強できる内容もありました。				総時間数(分)	1750

コースナンバー	n/a	タイトル	Reading	通年科目	
分野	English	授業期間	2013/07/01 - 2013/08/15	対象	留学生対象
授業言語	English	授業形式	講義	語学科目言語レベル	上級 成績
アメリカ詩を使って隠喩法の勉強をしました。バージニアの人種差別に関わる小説を一冊読みました。授業では4人ほどでグループを作り、チャプターごとのあらすじ、誰がメインの話か、どういった文章からこのチャプターはこういう雰囲気だ、などを話し合い、グループの一人が発表するという授業がメインでした。教科書では、接頭語や接尾語の勉強や、文を読んでも使われている手法を識別するというを行いました。文章を書く機会も発表する機会も多かったです。				総時間数(分)	1750

コースナンバー	n/a	タイトル	Writing	通年科目	
分野	English	授業期間	2013/07/01 - 2013/08/15	対象	留学生対象
授業言語	English	授業形式	講義	語学科目言語レベル	上級 成績
この授業では教科書を買ったにもかかわらず、一回も使用しませんでした。パワーポイントでアップされる内容を自分で印刷して授業で使いました。毎時間決められたテーマについてきちんとした構成を意識してエッセイを書きます。テーマは「アメリカの独立記念日と自国の独立記念日(ない場合は他国のでも可)を比較してください」などでした。また、英語での履歴書の書き方も勉強しました。自分の性格について書くエッセイでは、3つのエピソードを入れて2000字書きました。				総時間数(分)	1750

コースナンバー	n/a	タイトル	Listening & speaking	通年科目	
分野	English	授業期間	2013/07/01 - 2013/08/15	対象	留学生対象
授業言語	English	授業形式	講義	語学科目言語レベル	上級 成績
毎授業、先生が話した文を聞き取って書いて提出しました。更に、先生が決めたテーマについてパートナーになった人に5分間話し続けるというを行いました。2回プレゼンテーションを行いました。1回目は多くの患者さんがいて病状や年齢、社会貢献度を基にどの3人を最初に心臓移植すべきか、またその理由についてでした。2回目は、テーマフリーでそれぞれ10分程度のプレゼンテーションを行いました。ペアワークの多い授業でした。				総時間数(分)	1750

入力例：コンテンツ科目

単位認定用 履修科目報告書

所属名称	英語キャリア学部 英語キャ	派遣年・時期	2012 - 春派遣	学期目	2nd semester/term
学年・クラス・学籍番号		留学区分	推薦留学	学期期間	
氏名(英文)		派遣先大学・国		卒業期	3月期
氏名					
帰国後連絡先	電話番号:	携帯電話番号:			
備考欄A			備考欄B		

コースナンバー	CHN25	タイトル	FOOD AND CHINESE CULTURE	通年科目	
分野	Others	授業期間	2013/11/04 - 2014/02/26	対象	現地学生対象
授業言語	English	授業形式	講義	語学科目言語レベル	中級 成績
この授業では、中国の社会と食・物について学びました。人口と国土が世界トップであり、近年では急成長を遂げる中国がどのような社会であるのかといったような食文化のなかについて学びました。東西南北で中国の社会、生活そして食文化が大変違うことがわかりました。さらに、フィリピンは中国からの移民の影響で中国の食文化がフィリピンの食文化に影響しており、それを重点的に分析して授業内容でした。テストは、2回行われ、さらにグループプレゼンテーションも2回行われました。その内の1つのプレゼンテーションでは、フィリピンの方が経営している中華レストランに行って、そのレストランを観察して発表するものでした。中国だけでなく、フィリピンの食文化について歴史的観点から分析する興味深い授業でした。				総時間数(分)	2520

コースナンバー	COM110.5	タイトル	SPECIAL TOPICS IN CULTURE AND COMMUNICATION	通年科目	
分野	Communicat	授業期間	2013/11/05 - 2014/03/04	対象	現地学生対象
授業言語	English	授業形式	講義	語学科目言語レベル	中級 成績
この授業では、コミュニケーション論について学びました。授業の序盤では、コミュニケーション論の学説を学んでいきました。中盤からはこれらの学説を応用し、現代社会においてどのようにしてコミュニケーションが用いられているのかを学びました。この授業で重点をおいた分野が、サイエンス・コミュニケーションでした。情報社会の今、化学がどのようにして人々に伝達されているのかを分析しました。この分野で日本は優れているので、日本人としての意見を授業中に求められました。また、プレゼンテーションやグループワークとして模範記者会見も行いました。				総時間数(分)	2700

コースナンバー	JSP175/ P0	タイトル	JAPAN AND ASEAN	通年科目	
分野	Others	授業期間	2013/11/09 - 2014/02/22	対象	現地学生対象
授業言語	English	授業形式	講義	語学科目言語レベル	上級 成績
この授業では、ASEANについて学びました。その中でも、中国、韓国、日本そしてフィリピンに重きを置いている内容でした。授業の前半は、ASEANの基礎知識と歴史について学びました。東南アジアを含むASEANだけでなく中国、韓国、日本さらにロシア、アメリカについてと各国の関連性についての内容も含まれていました。その中でも、日本とフィリピンの歴史や関係性についての講義もありました。授業の後半では、前半に学んだことを踏まえてのディスカッションが行われました。クラスメートには、韓国、中国そしてフィリピン国籍がいてとても興味深いディスカッションになりました。加えて、テストは前半と後半に各一回テストが行われました。テレビや新聞では得ることのできないアジア問題に対する各国の人たちの意見が聞けた貴重な授業でした。				総時間数(分)	1800

コースナンバー	SA128	タイトル	CITIES AND SOCIETY	通年科目	
分野	Sociology	授業期間	2013/11/08 - 2014/11/13	対象	現地学生対象
授業言語	English	授業形式	講義	語学科目言語レベル	中級 成績
この授業では、都市社会学について学びました。私たち人間が住む町はどのようにして作られ、そしてどうして発展途上国と先進国では都市の形が違ってくるのかについて学びました。内容としては、都市社会学について研究している社会学者や建築家の論文を読み、それについて教授が分析していくような講義でした。また、グループプロジェクトとして、学校周辺のソーシャルマッピングを行いました。発展途上国であるフィリピンは日本と違いあらゆる層の人々が暮らしているので、富裕層と貧困層といったように分けて分析を行いました。そして、それをクラス内で発表しました。さらに、このクラスには大学生、院生と幅広い方々がいて、多くの興味深い意見を聞くことが出来ました。				総時間数(分)	2880